

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/05/07号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## イラン情勢の評価揺れ動き、高値圏で売買交錯

NY原油先物相場は、1バレル=110.93ドルまで値上がりした後、100ドル水準まで上げ幅を削る展開になった。イラン情勢に一喜一憂する展開が続いている。イランが米国に対して複数回にわたって新たな提案を行ったが、トランプ米大統領は満足のない内容ではないとの見方を維持している。ただし、和平協議そのものが決裂しているわけではなく、原油相場は高値波乱の展開が続いた。5月4日には米国とイランの軍事衝突が発生したが、米国防相は停戦合意は維持されているとの認識を示すなど、緊張感が維持されつつも、和平への期待感も維持され、評価が割れる地合になった。

UAEは5月1日付で石油輸出国機構（OPEC）とOPECプラスから脱退した。これによってOPECプラスの生産管理政策の制約を受けずに積極的な増産対応を行うことが可能になる。ただし、ホルムズ海峡の封鎖中はいずれにしても生産・輸出量の拡大は難しく、短期需給への影響は限定的との見方から、原油相場は目立った反応を見せなかった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（4月24日時点）は、原油が前週623万バレル減、ガソリンが608万バレル減、石油精製品が449万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

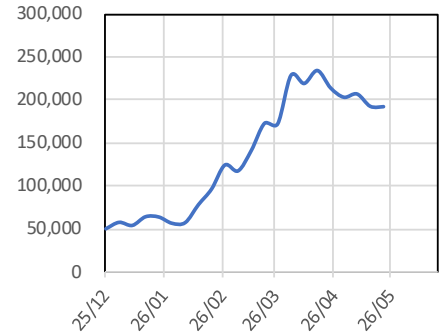
## 【展望】

## イラン情勢に一喜一憂、高値波乱の展開が続く

イラン情勢に強く依存する不安定な地合が続く見通し。依然として米国とイランの和平合意が成立する見通しは立っておらず、ホルムズ海峡の封鎖も続いている。5月4日には米国とイランの軍事衝突が発生し、UAEの石油関連施設がイランから攻撃を受けるなど、高いレベルの緊張状態が維持されている。このため、現物需給のタイト感強く、まだ突発的な急伸リスクを想定しておく必要がある。直近高値の110.93ドルを上抜く可能性もある。一方、和平合意を模索する動きも続いており、改めて需給ひっ迫リスクを織り込むことには慎重姿勢も目立ち始めている。NYMEX原油先物市場では大口投機筋の買い越し枚数が減少に転じており、高値限界も意識され始めている。この結果、高値圏で売買が交錯する展開が続きやすい。

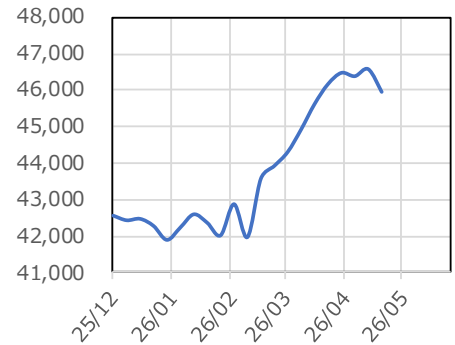
本格的な値下がり促すのであれば、和平合意が成立する見通し、もしくはホルムズ海峡が開放される見通しが必要になる。それが実現するまでは、世界の石油在庫の減少傾向は維持され、突発的な上昇リスクが排除できない。特にペルシャ湾内で米国とイランの軍事衝突、イランによる周辺国への攻撃といった動きが報告されると、まだ上値切り上げの可能性を残す。ただし、和平合意への期待感も着実に高まっており、原油市場では投機筋が買いポジションと売りポジションを同時に増やす傾向がみられる。イランは繰り返し新たな提案を行い、和平合意に意欲を示している。米国も、停戦合意を維持して和平合意を目指す姿勢に変化はみられない。いずれかの時点で両国が妥協点を見出すことができるとの楽観ムードも強い。短期上振れリスクを残しつつ、上昇局面では中長期的な戻り売りの妙味も維持される見通しだ。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



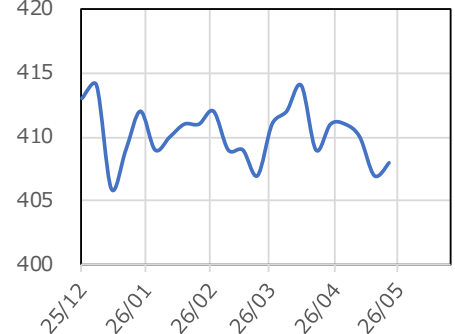
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

## 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

